

みちのく

ココロとカラダの癒し旅

早春の象潟、ぶらり旅

陽気がよくなり雪解けが進むと、休日ドライブに出てみたいくなる。春の気配をいち早く体感するドライブだ。秋田では、象潟町・三崎公園の桜が県内で最も早く開花する。その象潟町に、春一番の小旅行に出てみよう。

象潟町といえば、「奥の細道」の途上で松尾芭蕉が立ち寄ったことでも知られる古刹蛸満寺が有名だが、近年は「鳥海山の伏流水」が一つのキーワードになっているようだ。標高2236m、広大なすそ野を持つ秋田富士・鳥海山の、「緑のダム」としての保水力は計り知れない。食通に人気の象潟の岩

ガキも、海底に湧出するミネラル豊富な鳥海山の伏流水が育んだものだ。伏流水が地上に姿を表すポイントである「獅子ヶ鼻湿原」や「元滝」も自然探訪派には人気が高い。新潟、酒田間を走るJR羽越線のリゾート列車「きらきらうえつ」も、五月から十月までの週末には象潟まで延長運転される。この列車で象潟を訪れる遠方からの観光客も少なくない。GW前には鳥海山五合目まで登る鳥海ブルーラインも冬の眠りから目覚める。少し足を伸ばせば、まだまだ知らない象潟、知らない秋田に、出合えるかも知れない。

獅子ヶ鼻湿原の中で、鳥海山の伏流水がこつ然と地表にわき出している「出つぼ（別名、熊の水飲み場）」



蛸満寺境内の松尾芭蕉像



象潟は1804（文化元）年の大地震で潟底が隆起して現在のような地形になった。蛸満寺の六地藏は、その地震で命を落とした人を供養したもの



鳥海山の伏流水が地中からしみ出すように地表に流れ出る「元滝」もビューポイントの一つ



ねむの丘には海産物などの直売コーナーも併設されていて新鮮な食材を求められる

ねむの丘オリジナル開発商品の「ゆずぼん3兄弟」。象潟名物岩ガキを美味しく食べるために編み出されたローヤルゼリーとはちみつ入りのポン酢「ゆずぼん」、日本海に浮かぶ飛鳥産のトビウオのダシを使用しためんつゆ「めんども」、そして、トビウオ、カツオ、昆布を使った10倍濃縮の万能つゆ「だし名人」の3本。



ねむの丘の売店の取扱品目はおよそ6千点。秋田の特産品やおみやげのほとんどがそろう



道の駅としては東北最大級の「ねむの丘」

一日いても飽きない道の駅

平成十年三月二十六日にオープンした道の駅象潟「ねむの丘」は、象潟の観光やドライブに便利な施設で、また、それ自体がとても魅力的な観光スポットにもなっている。施設の中心は何といつても四階の展望温泉。日本海を一望できるナトリウム・塩化物強塩泉の大浴場は、天然温泉の心地よさと日本海の眺望を一度に満喫できる。天気の良い日であれば、水平線に沈む夕陽を眺めながらの温泉浴を楽しむこともできる。温泉好きであれば、一度は入ってみたい温泉の一つだ。

海の幸を中心にしたレストランのメニューも豊富。温泉の一日券を購入すれば、一日中館内でのんびり過ごすことも可能だ。また海を眺めながらの宴会も格別。バスの送迎もある。約六千点の秋田の物産品がそろうという物産館でのショッピングの他、併設される直売施設には、象潟港で揚げた鮮魚や地場の野菜を商うテナントも入っていて、自宅用に新鮮な食材を買って帰ることもでき、まさに至れり尽くせりといったところだ。

また、独自企画商品の開発にも力を入れていて、その中から生まれた「ゆずぼん3兄弟」という調味料のシリーズが、なかなかのヒット商品になっている。主婦がまとめ買いしていくほど評判なのだという。



海面を白く泡立たせて荒れる日本海を眺めながら「ねむの丘」の展望浴場にかかるのも一興



ねむの丘の4階が天然温泉の展望浴場になっている。日本海の水平線を眺めながらの温泉浴はぜいたく



赤い欄干が印象的な象潟橋。芭蕉もここから鳥海山を眺めている



象潟町内の旧街道沿いにはレトロな家並みが続く。その一角の公会堂は昭和9年建設の木造洋館



おいしい海の幸を食べたかったらここ、と定評のある「たつみ寛洋ホテル」。2つある浴室の1つは古代檜風呂。時間で男女を入れ替える。昨年から天然温泉の湯になった

▶秋田でも本荘由利地方の港町でなければ食する機会のないノロゲンゲという深海魚。全身がゼラチン質に被われていて、鍋にすると表面がトロツとしている。身は淡白でおいしい。初めて口に入れる人はちょっとした感動かも…



▲ガサエビ(クロザコエビ)は日本海ならではの逸品エビ。あまり市場には出回らない。唐揚げにしても絶品!



▲たつみ寛洋ホテルの料理は、素材の持ち味を生かした魚介料理があふれるほど並ぶ。ほとんどが象潟港で揚がったもの

象潟巡りの宿と食と足

良港を控えた象潟は四季を通して多様な海産物が水揚げされる。そんな新鮮な旬の海の幸が食べられる宿として食通にも有名な「たつみ寛洋ホテル」だ。宿自身が秋田県漁協の仲買人になっていて、当日浜で競り落としたばかりの新鮮な魚介料理があふれるほど膳に乗るのだから魚好きにはたまらない。横手、湯沢、新庄など、秋田・山形両県の内陸部からの、それもリピーターのお客が多いのだとか。なんとなくうなずける話だ。五月から九月末までは天然岩ガキも食べられる。季節によって膳にのる魚が違ってくるので、出かける前に事前に問い合わせせてみてほしいだろう。こざいいな二つの浴室には、昨年からナトリウム塩化物強塩泉の天然温泉がひかれている。

日帰りでおいしい魚料理をという人には、象潟駅近隣の旬菜・磯料理「海香里(あかり)」がいい。旬の海の幸、山の幸の素材本来の味を生かしつつ、料理職人のひと手間をかけて、目にも

海香里のカウンター。旬の新鮮な海の幸にひと手間かけた料理が女性客にも人気



舌にもうれしい料理が並ぶ。市場に回らない港町ならではの珍味にも出合える。お客の大半は地元の人で、口が肥えて鮮度にうるさい人が多いので、その期待を裏切らないだけのものが出されるわけだが、口コミで秋田市や酒田市あたりからも食通がやってくる。三、〇〇〇円のおまかせコースが店主のオススメ。店主の趣味で日本中から厳選した三十本ほどの地酒を取り寄せている。日本酒好きには垂涎の銘柄もあるようだ。



見た目も鮮やかな料理が海香里の自慢。店主の趣味で全国の銘酒もそろそろ。写真はガサエビ、鱧白子、ウマズラハギ、イダコ、クロエビ、真鯛など



獅子ヶ鼻湿原のブナ林は、炭焼きのための伐採が原因と思われる異形のブナの木が多く独特の景観。「あがりこ大王」と呼ばれるこの木は、湿原の主のような存在



潮さいのホテル棟は一昨年の完成。真新しく清潔な洋室だ。リーズナブルな料金設定が旅行者にうれしい



潮さいのコテージは全4棟。メゾネットタイプはグループや2家族での旅行などに好適だ



潮さいの食事付き宿泊時の献立。この料理がついて1泊2食7,500円はオトク

K I S A K A T A M A C H I

道の駅
象潟 **ねむの丘**
〒018-0121
秋田県由利郡象潟町字大塩越73-1
TEL.0184-32-5675
HPアドレス <http://k-nemu.room.ne.jp/>

【施設のご案内】●駐車場完備 ●営業時間
本館9:00~21:00、物産館9:00~19:00、
温泉 9:00~21:00、レストラン9:00~
20:30(ラストオーダー21:00) ●物産館
●観光情報センター ●多目的ホール ●レスト
ラン ●大広間(60名) ●客室 2F:3室、3F:6
室 ●宴会用大ホール(150名) ●カラオケル
ーム ●ゲームコーナー ●展望温泉「眺海の
湯」 ●サウナ ●展望台 ●足湯温泉
入浴料お一人様 90分 大人350円 子供200円
1日券 大人700円 子供500円

かんよう
たつみ寛洋ホテル
〒018-0115
秋田県由利郡象潟町字後田116-5
TEL.0184-32-5555(代)
Fax.0184-43-5744
HPアドレス <http://www4.ocn.ne.jp/~t-kanyo/>

【施設のご案内】●駐車場完備
●客室 20室(和室11・洋室8・和洋室1、
全室バス・トイレ付) ●宿泊人員 60名
●宴会場 ●売店 ●自販機
●洗濯機 ●食事処 和食「美松」
お一人様日帰り 3,000円より(税別)
お一人様1泊2食付 10,000円より(税別)

旬菜・磯料理
海香里
〒018-0116
秋田県由利郡象潟町字四丁目塩越86-1
TEL&FAX.0184-43-5677

●営業時間 PM5:00~11:00
●定休日 火曜日

ホテル&コテージ **潮さい**
〒018-0107
秋田県由利郡象潟町字荒屋下28
TEL&FAX.0184-43-3135
HPアドレス
<http://www.edinet.ne.jp/~shiosai>

【施設のご案内】
●駐車場 ホテル・コテージ計30台
●客室 ホテル:和室・洋室
コテージ:平屋タイプ・2階タイプ
●宿泊人員 ホテル:24人
コテージ:25人
お一人様1泊2食付 6,500円より(税別)



象潟に泊まってみなければいけないと海香里のような店の食事も捨てがたいという向きには、おあつらえ向きの宿がある。海辺の宿泊施設ホテル&コテージ「潮さい」。その名の通り、全八室のホテル棟とコテージが四棟ある。ここは素泊まりや朝食付きの宿泊ができるので、夕食を別のお好みの店でとることもできるわけだ。ホテル棟はツインルームベースで、二人で泊まっても一室素泊まり七、八〇〇円とリーズナブル。また、コテージのほうは、メゾネットタイプの部屋もあり、最大収容は一室八名、複数家族やグループでの宿泊にも便利だ。小さい子供が一緒の旅行などにも、気兼ねがなくていいだろう。二食付きの場合はホテル、コテージとも一人七、五〇〇円と、こちらもかなりリーズナブル。

象潟から鳥海ブルーラインを通過して鳥海山五合目の鉾立まで向かう定期路線バスが一昨年廃止されて、登山者に惜しまれていた。そこで、地元タクシー会社、「象潟合同タクシー」がその定期路線バスを今年から復活させることにした。さらには、観光スポットを効率良く巡る貸切観光コース運行もしている。たとえば、象潟駅から蛸満寺、獅子ヶ鼻湿原、元滝、ねむの丘などを巡る約5時間のコース(二人三、〇〇〇円・2名以上・前日予約)や、土日祝日であれば、獅子ヶ鼻湿原をガイド付きでトレッキングする約2時間のコース(二人三、五〇〇円・2名以上前日予約)など、その他多様なコース設定がある。象潟駅までは列車で行って、地域内の移動は地元の足に頼ってもいいだろう。

(文・写真IIかとつりゆえ)II秋田県



鳥海山への定期バス路線復活や象潟の観光コース巡りなど、アクセス手段の開拓に精力的な象潟合同タクシーの大型バス
※鳥海山への定期バス運行日:
7/10~8/28迄毎日、9月毎土日祝日・祝前日、10/2・3の運行

■象潟合同タクシー 秋田県由利郡象潟町字家の後20番地27
TEL.0184-43-2030 FAX.0184-43-2032 HPアドレス <http://www.kisakata-goudo.com/>